



緑の島での一時

T. M氏・昭和47年卒

**夕
陽**

五館市支部会員

発行所
夕陽会 函館市支部
函館市立潮見中学校
印刷／株島本印刷



節 目 の 年

夕陽会函館市支部 支部長 三 島 俊 博

(昭和四十七年卒)

大正七年、函館師範学校同窓会として設立された夕陽会は、今年で九十年を迎えました。この長きにわたり、夕陽会を支えてきたものは言うまでもなく、母校を愛する同窓生の情熱そのものです。

去る、六月二十一日、記念式典並びに祝賀会が盛大に催されました。ここに至るために、二年ほど前から本部を中心準備を進めて参りました。函館市支部は祝賀会を主管する立場で、打ち合わせ会議・会費の集金・参加者名簿や座席の作成・ホテルとの打ち合わせ等を行い、無事、当日を終えることができました。

そこで、印象に残ったことや裏方の切り盛りなど少し述べてみたいと思います。まずは一つ目は、本部役員である某校長の提案で、祝賀会を盛り上げるためにバンド演奏を行つたことです。提案があつたときは、参加者の年齢を考えると、直かなり不安がありました。始まるときのベンチャーズのメロディーが懐かしさをかき立て、すばらしい演奏が披露されました。演奏して頂いた方々にはあらためて感謝申し上げます。

二つ目は、八百六十二名という参加者を収容するために、ホテル内の会場を二ヶ所使用したわけですが、第一会場の臨場感をいかに第二会場まで持ち込み一体感を出すか、思案に暮れました。そこで、第二会場に第一会場の様子を放映し、夕陽会の歴史を映像で流し、司会者も別に立て、バンド演奏を第一会場のみならず第二会場でも生で聴いて頂いたのです。

夕陽会もまた、六月の総会に於いて、橋田恭一氏を新会長に新たな船出をしました。知恵を出し合い夜明けの年にしたいものです。また、前会長の川島孝夫氏には、函館市支部は会の運営に関わって大変お世話をなりました。この場を借りて、衷心より厚くお礼申し上げます。

最初の予定では、応援団長によるエールも第二会場でもやつて頂く予定でしたが、諸事情により実現できなかつたのは残念でなりません。

三つ目は、退職された大先輩が予想を遙かに超え、全国各地から参加してくださいましたことの驚きです。九十歳を越えた方も中にはいらっしゃいました。大先輩諸氏の夕陽会を愛する心に脱帽です。

さて、母校についてですが、来年度から教員養成課程が無くなり、函館校の歴史上、大きな節目を迎えます。当然のことですが、卒業後は様々な職種に分かれ、全国に散つていくことになります。何か寂しい気もしますが、教員になる学生がいなくなるわけではありません。九十周年記念式典の席上、北海道教育大学長の本間謙二氏が夕陽記念館を教育資料館として高く評価し、これまでの教育に掛けた先人の努力に報いるべく、教職大学院を函館にも設立したいとの意向を話されました。道南に一校必要であるという考え方から、我々にとつても朗報であり、是非実現して欲しいと願うばかりです。



大堂 譲

三十年を振り返つて

今年は、私にとって教育に携わって三十年を経験したという節目の年です。思い起こしてみると、昭和五十三年四月、右も左も分からぬまま、福島町の小さな小学校に赴任。複式教育を学ばせていただきました。その後、函館市の大規模校へ異動し、教員を十六年間経験させていただきました。

その後、教育行政へ転出。これまた、右も左も分からぬまま、平成六年から、室蘭市教委、十勝教育局、上川教育局、

本校は、明治十三年に公立熊泊小学校として、開校以来、今年で一二八年を迎える太平洋に面した南茅部地区の昆布漁の盛んな地域にある児童数五十七名の小規模校です。大半の子ども達は、家業の昆布漁の仕事を、早朝からよく手伝い勤労の精神に溢れ、純朴そのものです。また、地域の方々やPTAの皆さんも、学校行事への協力を惜しません。PTAの三役会議も熱心に夜遅くまで行い、古紙回収や缶バッジ運動、運動会等への協

「明日の登校を心待ちにする楽しい学校」を目指して

今 福一



力など、積極的に取り組んでおります。この地域の方々や保護者の皆様の学校教育への熱い思いに触れるたびに、大船小学校の子ども達の健全育成に身を粉にして取り組む使命感が湧いてきます。

さて、この四ヶ月間で、改めて学校の

最高責任者としての重責や、教育改革のうねりの中での校長としてのリーダーシップ發揮の重要性を実感しました。そして、悩み困った時には、良き相談相手として、貴重なアドバイスをいたいたいのは、夕陽会等の諸先輩や仲間の皆様です。これからも、「校長自ら学ぶ」経営姿勢をもち、「明日の登校を心待ちにする楽しい学校」を目指し一層努力する所存です。

(昭和五十年卒 函館市立大船小学校長)



林 潤子

これまで大切にし、これからに活かす

く続けることができたものだとつくづく思つ。改めて諸先輩に「感謝」である。

ところで、初任校から数えて八校、小学校と中学校を行つたり来たりの勤務

だつたが、どこも充実していて、思い出深い。小学校は小学校の、中学校は中学校のそれぞれのよさや大変さがあり、両

方を経験できることに感謝している。

さて、今強く思うことは、「元気な学校」を創りたいということである。はつらつ

として、笑顔いっぱい、元気な心をもつた子どもたちが活ける学校。そこで、当

たり前のことでも、当たり前にできる子どもを育てたい。

これからも、今までご指導いただいた諸先輩のことを思い起こし、謙虚に、真つ

直ぐな心で歩みを進めたい。

(昭和五十二年卒 函館市立北星小学校長)

新たなお気持ちで

としての想いが強い地域である。

四月、「お帰りなさい」と地域から笑顔で迎えられた。また、励ましと期待の言葉をかけていただき、感謝とその責任の重さを痛感し日々の職務に専念している。子どもたちも明るく素直であり、明るく素直であり、さわやかな挨拶を醸し出している。PTAの方々が毎朝生徒玄関で「おはよう」と心温かく子どもたちを迎え、地域が一体となつて、子どもたちの健やかな成長のために目配り心配りをいただいている。校区には、我が母校をはじめ、特別支援学校、私立高校などが存立し教育環境にも恵まれている。さらに、地域の人々の心の支えとして鎮守している亀田八幡宮の存在がある。この地域と共に歩む信頼される学校づくりを使命と感じている。

地域と共に歩む学校

この前に子どもがいない行政時代の寂しさ。子どもたちのためと思いつながらも、目の前に子どもがいることの喜びを感じている学校現場。

今、改めて、自分を育ててくれた故郷で仕事ができる喜びを感じ、精一杯、頑張りますのでよろしくお願ひいたします。

(昭和五十三年卒 函館市立千代ヶ岱小学校長)



内城 明良

子どもたちの将来のために



函館市立八幡小学校
桃井 雅樹

北海道教育大学函館校を卒業して早数年、ついに教師になるという夢が叶いました。四月から正採用教員として教壇に立ち、同じ職場の先生方のご指導のもと、教師としての力量を高めようと努力を続ける日々です。現在は、八幡小学校において、六年担任という大変貴重な経験をさせていただいています。

しかし、毎日の学校生活の中では、自分の力量の無さを痛感することが多々あります。

まことに、中学校に向けて基礎学力をしつかりつけなくてはいけないと意識するあまり、授業の形式が知識を与えるものに偏重していたり、個に応じた指導が行き届いていなかつたりすることがありました。生徒指導においては、多種多様化する子どもたちの悩みに上手く対応できていないと実感することもありました。

そんな中、自分を励ましてくれたのは、やはり子どもたちの存在でした。期限付教員時代の教え子たちが中学校からたくさん会いにきてくれて、その成長した姿を見る度に「子どもたちの将来のために、もっとがんばらなくては」という気持ちが湧き起きました。

そして今年度は、初任者研修を通して、夕陽会の諸先生方にたくさんのご指導をいただいております。ご指導の全てが、これから自分の教員生活を送る上での大変貴重な糧となりました。これからも更なるご指導をよろしくお願いいたします。

新

会

員

に

な

つ

て

更なる成長を目指して

やりがいを感じて



函館市立本通中学校
今井恵美子

この度、長年の念願が叶い、四月一日から本通中学校で新たなスタートを切りました。今まで期限付教諭としての経験はあつたものの、函館市内一のマンモス校で自分に勤まるかとても不安でした。最初は生徒の多さに酔いそうになりましたが、諸先輩や指導教官のご指導に支えながら、何とか頑張っています。

現在、三年生の副担任として、大規模校ならではの課題に直面しながら、試行錯誤の毎日です。教科指導では

けじめのある、そして楽しい授業を目指しています。しかし、形だけにこだわってしまい、生徒が理解できなかつたりする感覚がありました。細かな成功経験が自信となり、何がちなのも課題のひとつです。以前に臨時採用で勤めていた学校は隣の中学校まで数十kmも離れており、同じ教科の先生同士で交流する場や機会はありませんでした。

今では教科サークルや夕陽の先輩など知恵を貸してくださいます。また、本校は自分の担当教科の教員が複数配置されている数少ない学校です。

今、自分はとても恵まれた環境の中で教員生活をスタートできましたと幸せに感じています。これからは諸先輩の力借りながら、今まで以上に自己研鑽に励み、教師としての資質や力量を高めていきたいと思います。



函館市立北中学校
外崎 達郎

四月一日に北中学校に赴任し、念願の教員生活がスタートしました。自分の力を伸ばすと必死にくらいついた一学期は、あつという間に過ぎてしまい、たくさん

の生徒や先生方とのすてきな出会いに恵まれ、大変感謝しています。

現在、本校に新設された特別支援学級で、一年生の担任をしています。本人との何気ない会話や、保護者の方との情報交換を特に大切にし、少しでも過ごしやすい環境をつくろうと思い努力しています。生徒と過ごした一学期を振り返ると、目に見えて生徒の力になつたことがたくさんありました。細かな成功経験が自信となり、何

事も一生懸命挑戦するようになりました。自立した生活を目指し、「自分のことは自分で」と意識できるようになりました。指導を通し、生徒の成長する姿を身近に感じることができます。指導ができるのは、教師の醍醐味だと思っています。

また、部活動では男女バスケットボール部の顧問として指導をしています。大学時代は生徒スポーツを学び、様々な競技を経験したつもりではありました。専門的な指導となると大変難しく、悩むこともしばしばです。

しかし、元気な子どもたちと一緒に走り回り、気持ちの良い汗をかいています。

まだまだ伸び盛りの私です。これからもたくさんの先生方にご指導をいただきながらチャレンジ精神を忘れず、子どもたちとともに成長できる教師を目指したいと思います。

- 五、広報活動の充実を図る。
- 四、会員の動向を的確にとらえ、組織強化ならびに会計の効率化を図る。
- 三、会員の慶弔に対し、適切に対処する。
- 二、幹事、若手会員を核に、「創造し行動する夕陽会」の浸透に努める。
- 一、本部との連携を深め、会員親睦の充実に努める。

母校開学の精神「土地墾闢・人民養殖」の精神を確かに、支部会員の資質高揚と親睦の和を深めることを目指した会務の運営に努める。

合わせて夕陽会の充実発展に寄与する。

平成20年度 支部運営方針

一、支部役員 ○役員

支部役員・業務内容

中学校長会長	小学校長会長	前支部長	元支部長	元支部長	元支部長	元支部長	元支部長	幹事長	監査	副支部長	支部長	役職
本間秀昭	長谷恵	伊藤正宏	小山内信廣	寺岡忠康	斎藤利春	池上信行	板谷正治	中谷満	切明学	鈴木洋美	真崎不二彦	滝澤裕
46年卒	47年卒	44年卒	42年卒	42年卒	39年卒	37年卒	33年卒	52年卒	53年卒	54年卒	28年卒	49年卒
会員年次	会員年次	会員年次	会員年次	会員年次	会員年次	会員年次	会員年次	会員年次	会員年次	会員年次	会員年次	会員年次

平成19年度 一般会計決算書

1. 収入の部

項目	予算額	決算額	増減(△)	摘要
会費	850,000	836,000	△ 14,000	836名
前納・年会費	40,000	39,000	△ 1,000	年会費会員中39名
緑越金	194,538	194,538	0	
緑入金	100,000	100,000	0	前納会計より
雑収入	20,000	20,217	217	利子、本部より振込手数料
合計	1,204,538	1,189,755	△ 14,783	

2. 支出の部

項目	予算額	決算額	増減(△)	摘要
事務費	220,000	222,644	2,664	封筒、事務用品
事業費	400,000	435,142	35,142	会報、広告代
会議費	250,000	141,500	△ 108,500	幹事会等
慶弔費	250,000	154,474	△ 95,526	祝電、結婚祝金、弔電、供花
振込手数料	30,000	60,900	30,900	各種会費徴収振込手数料
雑費	24,538	3,100	△ 21,438	振込用紙印字手数料
予備費	30,000	0	△ 30,000	
合計	1,204,538	1,017,780	△ 186,758	

〈収支決算〉

収入	1,189,755
支出	1,017,780
合計	171,975

→次年度緑越

平成20年度 予算案

1. 収入の部

項目	前年度決算額	本年度予算額	増減(△)	摘要
会費	836,000	850,000	14,000	850名の見込み
前納・年会費	39,000	40,000	1,000	年会費会員中40名の見込み
緑越金	194,538	171,975	△ 22,563	
緑入金	100,000	100,000	0	前納会計より
雑収入	20,217	20,000	△ 217	本部より振込手数料
合計	1,189,755	1,181,975	△ 7,780	

2. 支出の部

項目	前年度決算額	本年度予算額	増減(△)	摘要
事務費	222,664	220,000	△ 2,664	封筒、事務用品
事業費	435,142	400,000	△ 35,142	会報、広告代
会議費	141,500	200,000	58,500	総会、役員会、歓迎会ほか
慶弔費	154,474	250,000	95,526	祝電、結婚祝金、弔電、香典
振込手数料	60,900	60,000	△ 900	本部支部会費振込手数料
雑費	3,100	21,975	18,875	振込用紙印字手数料
予備費	0	30,000	30,000	
合計	1,017,780	1,181,975	164,195	

3. 前納会計

普通預金1	2,095,914
普通預金2	463,278
合計	2,559,192

学校名		転入会員		卒年	
附属	白尻	附屬	白尻	附屬	柏野
札部	法華	潮光	潮光	桔梗	桔梗
小	中	中	中	中	中
溝口	小	笛木	笛木	篠井	篠井
西仁	谷野	磯野	磯野	坂達	坂達
志一	谷田	奥野	奥野	横谷	横谷
夫秀	坂井	坂井	坂井	安達	安達
子昭	藤谷	藤谷	藤谷	高川	高川
一悦	藤川	藤川	藤川	近切	近切
利伸	藤川	藤川	藤川	長谷	長谷
俊秀	藤川	藤川	藤川	齊藤	齊藤
真一	藤川	藤川	藤川	山形	山形
佳史	藤川	藤川	藤川	烟木	烟木
秀治	藤川	藤川	藤川	佐村	佐村
大幸	藤川	藤川	藤川	荒木	荒木
幸穂	藤川	藤川	藤川	中村	中村
博	藤川	藤川	藤川	梶山	梶山
美惠	藤川	藤川	藤川	須藤	須藤
子博	藤川	藤川	藤川	黒崎	黒崎
司	藤川	藤川	藤川	佐藤	佐藤
子	藤川	藤川	藤川	長谷川	長谷川
裕	藤川	藤川	藤川	宮城	宮城
昭	藤川	藤川	藤川	山村	山村
千代	藤川	藤川	藤川	勢田	勢田
明子	藤川	藤川	藤川	谷	谷

新採用会員	卒年	新採用会員	学校名
H	H	H	八幡小学校
18	15	12	北本通中小学校
外崎達郎	今井恵美子	桃井雅樹	新採用会員

戸	湯	深	的	光	港	大	五	凌	宇	潮	西	大	白	磨	木	榎	え	日	戸	南	本	東	神	鍛	北	中	赤	亀	昭	北	桔	石		
倉	川	堀	場	成	川	稜	雲	の	浦	見	船	尻	光	直	法	華	新	井	本	通	山	山	神	原	央	川	田	和	和	昭	中の	梗	崎	
中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	小	小	小	小	小	西	通	山	山	神	原	央	川	田	和	和	昭	中の	沼	小		
坂	丹	櫻	谷	渡	北	阿	黒	瀧	川	岩	平	漆	黒	佐	後	工	小	守	森	工	糸	福	松	小	西	上	武	佐	福	佐	木	近	長	谷
本	藤	井	口	辺	辻	部	川	本	村	本	野	畠	嶋	藤	藤	藤	石	脇	藤	畠	崎	田	林	村	埜	田	野	永	藤	谷	藤	川		
奈	詩	嘉	淳	智	真	達	絵	秀	秀	高	英	宏	美	直	敏	優	佳	和	希	由	ち	雅	祐	由	哲	綾	英	廣	秋					
央	美	織	純	朗	子	子	之	朗	里	靖	樹	志	幸	美	穂	美	典	子	子	保	乃	佳	梢	哉	紀	佳	哉	都	丈	豊	範	宏	美	
15	15	13	13	5	8	7	9	11	5	12	6	7	9	6	45	6	5	3	6	9	13	17	19	17	21	18	9	17	19	14	15	16	3	

夕陽会函館市支部規約

第一条 この会は、北海道教育大学夕陽会函館市支部と略称する。(夕陽会函館市支部)

第二条 この会の事務局は、支部長の勤務先に置く。

第三条 この会は夕陽会会則に基づき、支部会員相互の親睦と発展を図ることに寄与することを目的とする。

第四条 この会は、その目的を達成するため次のことを行う。

一、総会

二、懇親会

三、会員の慶弔に関すること

四、支部会報の発行

五、その他必要と認められるもの

第五条 この会は、函館市及びその近郊に在住する次の各号に該当する者をもつて会員とする。

一、北海道函館師範学校卒業生

二、北海道第二師範学校卒業生

三、北海道学芸大学函館分校卒業生

四、北海道教育大学函館分校卒業生

五、北海道教育大学函館校卒業生及び大学院修了生

六、母校に在学した者（講習科、養成所も含む）

第六条 この会の役員は次のように定める。

一、役員

（一）支部長 一名

（二）副支部長 二名

（三）幹事長 一名

（四）副幹事長 若干名

（五）幹事 若干名

二、監査委員 三名

一、総会

（一）定期総会は、年一回支部長が招集し、会務、会計、規約、役員、より選考し、総会の承認を求める。

（二）副支部長、幹事長、副幹事長は支部長が委嘱し、総会の承認を求める。

（三）幹事は、勤務先その他ブロック毎に一名を選出し、支部長が委嘱する。

（四）支部長は、支部を代表し会務を統理する。

（五）副支部長は、支部長を補佐し、支部長に事故ある時はこれを代行する。

（六）幹事長は、支部長の命を受け、会務を処理する。

（七）副幹事長は、幹事長を補佐する。

（八）幹事は、勤務先その他ブロックを代表し、会務を分担する。

（九）監査委員は、支部の会務及び会計を監査する。

（十）任期 一年

（十一）支部長、副支部長、監査委員は二年とする。

（十二）幹事長、副幹事長、幹事は一年とする。

（十三）欠員による補充役員は、前任者の残任期間とする。

（十四）再任は妨げない。

（十五）この会は、顧問を若干名置くことができる。

（十六）顧問は、この会の重要な事項に關し支部長の諮詢に応じる。

（十七）顧問は、支部長が委嘱する。

（十八）この会の會議は、次のように定める。

事務局だより

○函館市支部会報七四号ができあがりましたのでお届けいたします。

本会報の発行に際し、ご多用中にもかかわらず、原稿依頼に際し快くお引き受けくださった方々に感謝申し上げます。

○去る五月二十二日（木）、本部より臨席を賜り、「新会員・幹事懇親会」をホテル函館ロイヤルを会場に開催いたしました。尾島悌介副会長によるご祝詞、須藤幹事長による祝杯で懇親会が始まりました。

新会員の方々からは、一人一人、近況報告もかねてご挨拶をいただきました。その後、本支部の伊藤顧問より新会員の方々に励ましの言葉などがあり、非常に温かい雰囲気の中で時間を忘れほどの盛会の内に終了することができました。

○各学校幹事の皆様へ

● 今年度の各学校の会員名簿作成、本部総会・大懇親会の参加者名簿の提出、会費・大懇親会費の納入、本部会報の配布等、ご協力に感謝申しあげます。

○ 来春二月二十二日（金）、例年同様副支部長、幹事長の協議による。

○ 会員の受賞、栄進等は祝電

○ 会員の死亡は香典五〇〇〇円と弔電

○ その他必要なものは、支部長、支部懇親会を計画しております。その節はよろしくお願ひいたします。

○ 会員に慶弔がございましたら、事務局の中谷までご一報ください。

付 則 平成五年四月十七日 改正

平成九年四月十九日 改正

平成十三年四月二十一日改正

平成十八年四月十五日 改正

○ 夕陽会函館市支部 事務局
〒040-0044 函館市青柳町十番七号
電話番号（〇一三八）二三一四二九五
FAX番号（〇一三八）二三一四二九六